



がんセンターでのレジオネラ属菌の検出について

1 概要

横浜市の「レジオネラ症防止対策に係る定期立ち入り調査」の事前確認のため、令和6年1月4日に、7階病棟介護浴室から採水し、水質検査を実施した結果、同室機械浴槽から「横浜市レジオネラ症を防止するための技術的管理指針」における指針値を上回るレジオネラ属菌を検出しました。

2 経過

- 1月4日 介護浴室から採水、水質検査機関に分析を依頼
- 1月10日 介護浴室の配管洗浄、シャワーヘッド・ホースの交換、清掃を実施
- 1月15日 水質検査機関から基準値を上回るレジオネラ属菌検出の速報
- 1月16日 横浜市旭区福祉保健センターに報告
同センターの指導を受け、介護浴室の使用中止、水質検査を再度実施
- 1月17日 水質検査機関からレジオネラ属菌検出の確定報告
機械浴槽において790cfu/100ml
※指針値：検出されないこと（10cfu/100ml未満）
- 1月18日 16日に実施した検査結果が判明し、PCR検査陰性の結果であり、機械浴槽は使用可能な状況となった

3 介護浴室利用者への影響

介護浴室の利用者26人（菌の潜伏期間を考慮し12月1日から1月15日までの利用者）の健康確認を行ったところ、現在までレジオネラ肺炎合併症事例はありません。

4 市の指導に基づく追加検査の実施

- 1月17日 当該機械浴槽に加えて、7階病棟の最末端であるキッチン水栓の水質検査を実施
- 1月18日 上記水質検査の結果が判明。PCR検査、陽性（LOW）
旭区福祉保健センターの指示に基づき、新たに病院棟及び管理研究棟の末端水栓9箇所にて採水ののち、中央循環式給湯設備で給湯する全給

栓の使用停止。併せて 65°C10 分以上の放流による消毒を実施

1 月 19 日 旭区福祉保健センターに消毒完了を報告の上、指示に基づき使用を再開

再度上記末端水栓 9 箇所にて採水を実施し、前日採水分と合わせて検査を依頼

横浜市医療安全課が来院し、今後の対応に関して意見交換を実施

5 今後の対応

前記検査結果が、1 月 22 日に判明する予定であり、結果について旭区福祉保健センターに報告するとともに、指示に基づき対応を図る。

患者さんご家族には大変ご心配をおかけしておりますが、引き続き横浜市医療安全課及び旭区福祉保健センターの指導に従って対応してまいります。

(問合せ先)

地方独立行政法人 神奈川県立病院機構

神奈川県立がんセンター

事務局長 天野 一

副事務局長 原田 麻子

電話：045-520-2222(代表)